

つきたい力

情報機器操作、情報処理能力
プログラミング的思考
情報モラル

取組みの概要・ポイント

- 系統立てた情報活用スキルの指導を行うために、教員が利用しやすいICTカリキュラムを作成する。
- 学習支援ソフトや機器操作の校内研修を充実することにより、教員の指導力向上を図る。
- ICTを活用した実践を集約・蓄積し、それを全員で共有することにより、学び合う組織を構築していく。

具体的な取組みの内容 ICT活用の日常化/ICTを活用した授業改善にむけて

ICTカリキュラムの作成

岸和田市教育委員会より例示されたカリキュラムを参考に、本校の学年別習得カリキュラムを作成した。情報情報機器操作・プログラミング・情報モラルの3領域について把握しやすく実用的になるよう簡潔にまとめることで、教員が確実に授業に取り入れるようにした。また、年度末には達成度アンケートを行い、カリキュラムの見直し、改訂を行った。

学年	領域	目標	学習内容
1年生	機器操作	タイピングを始めよう	タイピングの基礎
		1学期 バソコンを始めよう	ルールの確認 電源・片付けの練習 目的・使い方の クリック・ドラッグ 指差ソフト
		2学期 ロボットを始めよう	ロボットの基礎
2年生	プログラミング	1学期 共有機能を使って作業しよう	共有機能の活用
		2学期 今までの機能を使いこなそう	様々なソフトから最適なソフトを選択して活用する
		3学期 共有機能を使って作業しよう	共有機能の活用
3年生	情報モラル(低)	1学期 共有機能を使って作業しよう	共有機能の活用
		2学期 今までの機能を使いこなそう	様々なソフトから最適なソフトを選択して活用する
		3学期 共有機能を使って作業しよう	共有機能の活用
4年生	情報モラル(高)	1学期 共有機能を使って作業しよう	共有機能の活用
		2学期 今までの機能を使いこなそう	様々なソフトから最適なソフトを選択して活用する
		3学期 共有機能を使って作業しよう	共有機能の活用
5年生	プログラミング	1学期 共有機能を使って作業しよう	共有機能の活用
		2学期 今までの機能を使いこなそう	様々なソフトから最適なソフトを選択して活用する
		3学期 共有機能を使って作業しよう	共有機能の活用
6年生	情報モラル(高)	1学期 共有機能を使って作業しよう	共有機能の活用
		2学期 今までの機能を使いこなそう	様々なソフトから最適なソフトを選択して活用する
		3学期 共有機能を使って作業しよう	共有機能の活用

1年生	機器操作	タイピングを始めよう
4月	ルールの確認 電源・片付けの練習 目的・使い方の クリック・ドラッグ 指差ソフト	
5月	ロボットの基礎	
6月	共有機能の活用	
7月	共有機能の活用	
2学期	ロボットを始めよう	
9月	ロボットの基礎	
10月	共有機能の活用	
11月	共有機能の活用	

プログラミング
(学期に1回は授業として取り組んでください)
【低学年】アンブレラプログラミング(すごろくなど)
情報モラル(低)
・基本的なルールがあることを理解する
・長時間利用すると健康に影響があることを理解する
・インターネットは全世界につながっていることを理解する
・書き込んだことは完全に消すことができないことを理解する
・パスワードの大切さについて理解する

6年生
機器操作 タイピング1分間30文字
1学期 共有機能を使って作業しよう
ロボットの共有機能を使う

プログラミング
(学期に1回は授業として取り組んでください)
【高学年】応用プログラミング(スクラッチ)

1年生	カリキュラム達成度アンケート
1	タイピングの基礎を習得したか
2	ロボットの基礎を習得したか
3	共有機能の活用を習得したか
4	共有機能の活用を習得したか
5	共有機能の活用を習得したか
6	共有機能の活用を習得したか
7	共有機能の活用を習得したか
8	共有機能の活用を習得したか
9	共有機能の活用を習得したか
10	共有機能の活用を習得したか
11	共有機能の活用を習得したか
12	共有機能の活用を習得したか

今年度の取組みを踏まえて改訂したICTカリキュラムの詳細はこちらのQRコードから確認できます。



校内研修の充実

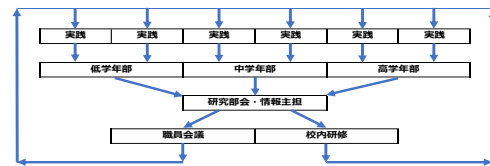
- 外部講師を招聘した研修
 - ・・・PCや大型モニター、プログラミングソフトなどの操作、シンキングツールを活用した授業づくり等(7回)
- 会議後のミニ研修
 - ・・・教員が実践を持ち寄り、短時間(10分程度)の授業実践報告・操作研修。各教員の持ち味を生かせる場にもなっている。
- 研究授業(年間3回)、授業改善アドバイザーによる指導(年間30回)



↑ 研修内容・蓄積された実践の一例

実践の蓄積と共有

ICTを活用した実践を毎月の学年部会で集約し、職員会議で共有するサイクルを構築した。集約後、研究部会で分析・検討することで、教員が必要としている情報やスキルを把握し、校内研修を行った。各教員の実践については、ロイノート内で共有・蓄積。



取組みを通しての子どもの変容

- 上記の取組みを行うことで、各教室でのICT活用の頻度が向上した。児童は意欲的に学習に取り組み、意見共有や調べ学習を中心に活用できた。
- ・毎日学校のタブレットPCを使っている。(4月)23%→(7月)60%→(11月)92%
- ・タブレットPCを使うと授業が分かりやすい(4月)84%→(7月)96%→(11月)100%
- ・インターネットを使って、自分が必要とする情報を集め、信頼できる情報を選ぶことができる。(4月)76%→(7月)88%→11月(100%)
- ・自分の考えや調べたことをプレゼンテーションソフトなどを使って、わかりやすく人に伝えることができる。→(4月)84%→(7月)88%11月→(96%)
- ・タブレットPCを利用するときは、学校で決められたルールやマナーを守っている。→(4月)96%→(7月)96%→11月(100%)